

宗近中学校 2年 教科：特別の教科「道徳」		指導者	松井 啓子	
教材名	「リスペクト・アザーズ」 日本文教出版「中学道徳 あすを生きる②」		時	2 / 全2時間 (前時はビデオ視聴)
主題名	個性を尊重する社会	内容項目	C-(11)公正、公平、社会正義	
ねらい	自他の個性と人権を尊重する大切さに気づき、よりよい社会の実現に努めようとする実践意欲を育む。			
生徒の実態について	校内での様々なできごとや仲間の行動に対して、自分自身の理想や正義感にもとづいた思いを持っているものの、周囲の目を意識しすぎてしまい、ほかの意見や考えに左右され、正義の実現に努めることに消極的である。			
評価について	「自他の個性と人権を尊重する」という考え方をとおして、よりよい考え方、行動のしかたを模索するような発言や記述が見られたか。			
<b>学習指導過程</b>				
	学習活動 (CD による範読時間：約6分)			
導入	1 「うれしいこと」があった時、誰に伝えたいと思うか考える。 また「うれしいこと」「成功したこと」等があっても、誰にも伝えられない時はないか考える。			
展開	<p>2 教材「リスペクトアザーズ」を読み、考える。</p> <p><b>発問①人間関係のトラブルが自分に起きたとき、どうするだろう。</b> <b>また友だちに起きたときはどうするだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族に相談する。</li> <li>・ 先生に言う。</li> <li>・ 友だちに相談して解決策を考える。</li> </ul> <p><b>発問②「うれしいこと」「成功したこと」を家族や限られた友人など、特定の仲間には伝えることができても、クラスや学年の仲間には伝えにくいのはなぜだろうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その場では喜んでくれても、後で「自慢」みたいに思われるかもしれない。</li> <li>・ 「そんなことがうれしいのかな？」と思われたら、はずかしい。</li> <li>・ うれしかったことを話している人を見たことがない。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【中心発問】</b> <b>「僕」はどんな思いから「違う点だけでなく、うまくいったこと、できなくても努力していくことなどを尊重し合っていくことができれば、もっと素晴らしい社会になっていくと思う。」と言ったのだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 喜びが何倍にもなるから。</li> <li>・ 他の人の良さを見つけられるようになるから。</li> <li>・ 相手のことだけじゃなくて、自分のことも大事にしていきたいから。</li> </ul> </div> <p><b>【自分に+1】</b> <b>「リスペクトアザーズ」を実現するために、今の自分にできることはどんなことだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達が喜んでいることを笑顔で聞くこと。</li> <li>・ 大人じゃなくて、まず友達に話すこと。</li> </ul>			
終末	3 教師の説話を聞く。			